

科目名	知的財産権			担当教員	三崎 幸典		
学年	専攻科1年	学期	後期	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	08AG1_20070	単位区分	学修単位
学習目標	<p>発明は研究開発の成果であり、技術者にとって特許は論文と同様にかげがえのない財産といえる。技術開発競争が益々激しくなる現在において、特許の重要性は益々高まっている。本講義では知的財産権に関する基礎を勉強し、これからの特別研究や就職・進学後の研究に役立つ特許検索に精通することを目標に、身近な問題から例題を挙げその例題について特許として成立するか？特許として成立しない場合でもより良い改良法はないか？新しいアイデアの創出など実際の研究でも行われる考え方を身につけることを目標とする。</p>						
進め方	<p>最初に特許検索について詳細に説明し事例を示し特許検索の方法を取得する。次に特許について説明しいろいろなアイデアを教員又は受講学生が出し先行特許はないか？先行特許を侵害しないような方法はないか？それが特許として認められるか？などを勉強する。テーマを与えそれに対して特許検索し自分の意見や先行特許に抵触しないようなアイデアをレポートとしてまとめる。</p>						
履修要件							
	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 知的財産権と特許(2) 知的財産権とは、 知的財産保護の特色など 2. 特許検索の方法(4) 3. 特許検索の実習(4) 4. 事例を示した特許検索実習(4) 5. 特許検索のレポート作成(1) 6. 特許に関する基礎知識(4) 7. 事例を示した特許検索実習(4) 8. 事例を示した特許検索実習(4) 9. 自分で考えたアイデアの特許検索(2)			知的財産権について簡単に説明できる D1:1-2 特許検索の方法を説明できる D1:1-2 事例を示せばそれに関する特許検索ができる D1:1-2 特許に関する基礎知識を説明できる D1:1-2 事例を示せばそれに関する特許検索ができる D1:1-2			
	10. 学年末試験(2) 特許検索を行いレポートを時間内に提出する 11. レポート返却・チェック			自分のアイデアを創出できる D1:1-2			
評価方法	学年末試験・レポート提出80%，ディスカッション10%，授業態度などを10%の比率を基本として総合評価する。						
関連科目	技術者倫理						
教材	教科書：高林 龍 著 「標準 特許法」 有斐閣						
備考							